



# 「東京クラシッククラブ」今春、誕生。 カントリークラブのあるべき姿を 設計者ジャック・ニクラス氏に聞く。

この春、「世界基準による真のカントリークラブ創設」を軸に、ゴルフコース、乗馬施設、貸し農園、自然教育の場などを備え、クラブメンバーが家族で楽しめる、会員制複合施設が完成する。コース設計家としても名高いニクラス氏に、クラブの理念を聞いた。

Photographs(above) : Shigeru Kunita

STYLEのある、ゴルフをめざす

## ジャック・ニクラス

1940年、米国生まれ。62年、プロデビューの年に全米オープン優勝。以降、メジャー通算18勝は歴代1位。一方、大学ではランドスケープ工学を学び、プロゴルファーとして活躍しながら、68年よりコース設計家としても旺盛に活動。毎年、メジャーが開催される米国「ミューアフィールド・ビレッジ・ゴルフクラブ」をはじめ、世界各地のゴルフコースを設計してきた。

メジャー勝利数歴代1位の18勝を達成したゴルフ界伝説の「帝王」は、現在もゴルフコースデザイナーとして世界で活躍する。2014年には米国「ゴルフマガジン」誌によるベスト・アーキテクト・オブ・ザ・イヤにも輝いた。日本にも同氏設計のゴルフコースはいくつかあるが、今春、新しく千葉県に完成、開場される「東京クラシッククラブ」は、従来の日本にはなかった字義本来のカントリークラブだという。そのクラ

ブの意味からニクラス氏に聞いた。「欧米でいう本来のカントリークラブとは、ゴルフだけに特化するのではなく、いかに家族全員で楽しめるか、そこに主眼が置かれていいます。テニス、スイミング、乗馬、ハイキングなど、広くウエルネスと呼ばれるアクティビティが揃い、家族で一日を過ごせます。本来クラブとは、人と人を結びつけ、人間性を高める場であるべき。ゴルフクラブもその例外ではなく、私はゴルフ

から人生の多くを学んできました。ルールブックの第1条には、礼儀正しさとスポーツマンシップを示しながら、洗練されたマナーでふるまふとありますが、こうした精神を次の世代に教え伝えることが、クラブライフのあり方だと思います」

共に学び、楽しみながら、国際社会に貢献できる人材を育成。施設の憲章には、こうした考え方を挙げています。中心はゴルフクラブだが、加えて馬主クラブや貸し農園、親子で体験できるアウトドア・アクティビティや文化教室などを充実させ、世代を超えた豊かなクラブライフをめざす。

「東京クラシッククラブ」のゴルフコース。写真は10番ホール。親子3代でプレーが楽しめるよう、飛距離に応じたティグラウンドを備える。コース整備は、日本で唯一、米国ゴルフコース管理者協会公式ライセンスを保有している大江康彦氏が中心に管理を担う。

予定地を視察した設計家は、東京近郊でこれほどゴルフコースに適した土地はないと確信したという。「丘陵の高低差は適度。木々豊かな森は美しいし、何よりも水の流れが天然のハザードに利用できました。私は18ホールを回ると、手持ちのクラブが全て打てるような設計を心がけていますが、まさに理想的な地形です。戦略性にもこだわりましたが、ティーを変えらることで初心者から上級者まで、みんな楽しんでくれるコースが完成しました」



昨年夏、ゴルフコース造成の最終チェックを行った際のニクラス氏。自らカートを運転、さらに試打をしながら視察した。

も行える。アニマル・ウエルフェアの概念の下、子供たちには情操教育を図る。運営に関しては、NPO団体の引退馬協会と提携する。乗馬クラブの隣には、クラインガルテン、つまり貸し農園のスペースが生まれる。2×3mの農地を1区画として貸し付け、メンバーは家族で自由に野菜などを栽培できる。普段は近隣の提携農家が水まきなどの管理を請け負ってくれる。希望者には農業の指導も行い、食育にも貢献する。育った野菜はクラブハ

ウスのレストランで調理、あるいは販売することも自由。また馬糞の堆肥で有機農法を実現させることに、クラブ内での環境循環を志す。さらに教育の森という施設もある。エコツーリズムの専門組織「ピッキオ」との提携を予定しており、自然観察や昆虫採集、サマーキャンプなどのアウトドア・アクティビティを提供。陶芸、絵画、木工などの体験講座も開催する計画だ。

「東京クラシッククラブ」は会員制クラブであるが、従来あるゴルフクラブのような預託金制度はとらず、メンバーに普通株式を発行する。株主会員の同伴者は3人まで、土日祝日も会員同等の待遇・料金でプレイが可能だ。株主以外のメンバーは、本人のみの特典となる。普通株発行の背景には、メンバー同士でソサエティを形成、発展していく意図があり、メンバー募集終了後には一般社団法人化への移行をめざす。最終的な株主とメンバーの総数は601人。うち1人は名誉発起人のジャ

ック・ニクラス氏だ。その人の言葉。「メンバー全員で理想的なクラブへ育てていきたいと願っています」

ゴルフコースの開場は5月14日、その他の施設は8月に完成の予定。日本のゴルフクラブの新たなスタイルが、ここに予感される。



ゴルフコースの周囲を乗馬できるホースバック・トレッキングコースを開設予定。一方、地域一帯の火山灰土には有機農法に適しており、クラインガルテンで野菜づくりが楽しめる計画だ。さらに教育の森では、数多くのプログラムを通年で用意。昆虫採集やキャンプ、陶芸教室などが親子で体験できる予定。(写真はイメージ)

東京クラシッククラブ  
千葉県千葉市若葉区和泉町237-3  
同事務局 ☎ 03-6804-1606  
http://tokyo-classic.jp